

提案書評価基準

【評価方法】

- (1) 出席委員の評価点数の合計が最も高い提案を第一順位とする。
- (2) 出席委員の評価点数の合計が最も高い提案が複数あるときは、「提案書評価基準」の評価項目「4 横浜版学習プラットフォームの開発」、に係る提案の合計得点が最も高い提案者を第一順位とする。
- (3) (1) 及び (2) の方法によりなお、第一順位が決定しない場合は出席委員の多数決により第一順位を決定する。それでもなお決定しない場合は委員長が第一順位を決定する。
- (4) 各評価委員評価の合計点の平均が 300 点 (60%) に満たない場合は受託候補者として特定しない。

評価事項	評価	ポイント数					重要度	配点
1 全体を通した評価事項								
(1)業務目的、業務内容を理解しているか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×8	40
(2)実施方針及び実施手法に妥当性・実現性があるか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×6	30
2 提案者について ※特定共同企業体の場合は、構成員全体で満たしているかを判断する。								
(1)ワークライフバランスに関する取組								
以下に示す認定等の取得状況に応じて評価。 ①次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみんマーク、プラチナくるみんマーク）の取得 ②女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼし）の取得 ③若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール）の取得 ④よこはまグッドバランス賞	5: 2 つ以上有 3: 1 つ有 1:無	5	-	3	-	1	×1	5
(2)障害者雇用に関する取組								
障害者雇用促進法に基づく法定雇用率 2.5%の達成状況に応じて評価 ・達成している（従業員 40 人以上）、又は障害者を 1 人以上雇用している（従業員 40 人未満）	5:有 1:無	5	-	-	-	1	×1	5

(3)健康経営に関する取組									
以下に示す認定等の取得状況に応じて評価。 ①健康経営銘柄、健康経営優良法人(大規模法人・中小規模法人)の取得 ②横浜健康経営認証の AAA クラス若しくは AA クラスの認証	5: 2 つ有 3: 1 つ有 1: 無	5	-	3	-	1	×1	5	
3 体制、実績、事業管理									
(1)業務実施体制									
横浜市立小中学校全校への導入に向けて、業務の遂行に有益な従事者が割り当てられているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×3	15	
(2)業務実績、経験									
過去、公立学校において自社 AI ドリルを提供した実績があるか。ある場合、本業務に有益な成果を得ているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている (又は実績無し)	5	-	3	-	1	×4	20	
(3)事業管理									
進捗管理、リスク管理（個人情報の漏えい等の対策やコンプライアンス対策）の計画・体制について、妥当性があるか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×4	20	
4 横浜版学習プラットフォームの開発									
(1)搭載・開発される AI 機能は、児童生徒の「知識・技能」（特に英語及び算数・数学）の定着に効果的に寄与するものか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×6	30	
(2)横浜版学習プラットフォームと自社 AI ドリルとの明確で有益な差分が示されているか（独自の機能開発がなされるか）。	5: 差分が明示されており有益 3: 差分が明示されているが不十分 1: 差分が不明確	5	-	3	-	1	×6	30	
(3)教科の系統性・関係性、他教科との系統性・関係性及び学習データから、児童生徒の積み残し・つまずきが発生している学習内容を、高度に推定する機能について、有益な検討内容が示されているか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×6	30	
(4)把握した積み残し・つまずきに対応し、コンテンツをレコメンドする機能の開発について、有益な検討内容が示されているか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている	5	4	3	2	1	×6	30	

	1:特に劣っている							
(5)横浜市が目指すグローバル人材育成に向けた方向性を理解し、英語力の推定機能や、AI 英会話機能などについて、有益な検討内容が示されているか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×6	30
(6)授業の中での活用及び授業との接続に向け、有益かつ教員に負担を感じさせにくい機能について、優れた検討内容が示されているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×3	15
(7)ユーザーインターフェースは、児童生徒と教職員にとって使いやすいものか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×3	15
(8)通信環境が不十分な場合でも、学習が継続できる工夫があるか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×2	10
(9)児童生徒と教職員のダッシュボード（管理）画面は、取組状況を簡単にわかりやすく把握できるものか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×2	10
(10)機能の質と量は、ICT の得意不得意など様々な状況にある教職員にとって負担感を感じさせにくいバランスとなっているか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×2	10
(11)機能要件に対応しているか。	5:「不可」なし 3:「不可」があり 影響小 1:「不可」があり 影響大	5	-	3	-	1	×6	30
(12)非機能要件に対応しているか。	5:「不可」なし 3:「不可」があり 影響小 1:「不可」があり 影響大	5	-	3	-	1	×2	10
5 使用校における運用サポートについて								
(1)使用校で円滑に運用されるよう、教職員向けサポートデスクが充実しているか。特に全校導入直後は学校から多くの問合せが想定されるが十分な体制があるか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×6	30

(2)教職員向けマニュアル、FAQ 等の用意があるか。教員の活用促進に向けた研修の実施計画があるか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×5	25
(3)活用が十分に進んでいない学校への活用促進に向けた具体的な計画があるか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×3	15
(4)個人情報に関する保護者同意が得られなかった場合の対応について、妥当性があるか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×2	10
6 データ提供と活用								
横浜版学習プラットフォームから得られるデータを活用した分析・提案について、有益で妥当性があるか。	5:特に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:特に劣っている	5	4	3	2	1	×4	20
7 契約期間終了時のデータの引継ぎ（データを含む。）								
次年度、別の事業者が受託した場合のスムーズな引継計画（データ含む。）について、妥当性があるか。	5:優れている 3:普通 1:劣っている	5	-	3	-	1	×2	10

満点 500